

高次脳機能障害とは

お子さんが転倒や転落、交通事故やスポーツ事故などで頭を強く打ち、脳しんとうを起こしたり、意識がなくなったりしたことがありますか。

突然の激しい頭痛や手足のけいれんにより、救急車で運ばれたことはありませんか。

高次脳機能障害とは、事故や病気などで脳が損傷を受けたことによる後遺症で、記憶・注意・思考・行為・空間認知などの脳機能の一部に障害が起きた状態をいいます。

【原因となる主な疾患】

急性脳症、髄膜炎、頭部外傷（脳挫傷、硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳内血腫、外傷性クモ膜下出血、びまん性軸索損傷など）、低酸素脳症、脳血管障害（脳梗塞、脳出血、脳動静脈奇形、もやもや病など）、ウイルス性脳炎、脳腫瘍など。

事故や病気により脳に損傷を受けると、損傷した脳の部位により、以下のような症状が出る場合があります。

判断力や社会的技能がうまくいかない

見た瞬間に、何が、どこに、どの向きであるか分かりにくい

前頭葉

頭頂葉

後頭葉

物事を覚えられない
話を理解しにくい

側頭葉

見た物の色、形、奥行き、動きが把握しにくい

子供の高次脳機能障害の特徴

- * 覚えられない
- * 段取りが悪い
- * 時間がかかる
- * 集中できない
- * すぐにキレル
- * つかれやすい

- ※ 脳損傷の原因や程度により症状は異なります。
- ※ 発達の段階や周りの環境（家庭・学校）により症状は変化します。

発達障害とちがうの？

* いわゆる発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症など）の多くは、生まれた後の事故や病気が明らかでなく、生まれつきの脳機能の障害が原因で生じると考えられています。一方、高次脳機能障害は、事故や病気などによる後天的な脳損傷が原因の「中途障害」です。

* 高次脳機能障害は、発達障害と同様の症状が継続して見られる場合、発達障害の診断がつくこともあります。

高次脳機能障害は、健康だった子供が事故や病気により以前と違った状態になるため、本人、保護者、兄弟姉妹、同級生、学校関係者は、受け入れることが難しかったり、とまどうことがあります。

障害による情緒面の変化が、性格によるものと誤解されたりするので配慮が必要です。

高次脳機能障害のチェックリストと主な症状

* 事故や病気により脳が損傷された後に、お子さんに以前と変わった様子はありませんか。以下のチェックリストで確認してみましょう。

チェックリスト

- 今日の授業で何をしたか思い出すことができない
 - 毎日会う友だちや担任の名前、日付を覚えられない
 - 何度も同じことを聞く
 - 少し前に言われたことを覚えていない
 - 友だちとの約束を忘れたり、重複したりする
 - 人に言われたことを都合良く解釈し、作り話をする
 - 一度覚えたことに対する修正がきかない
-
- 授業中にぼーっとしたり、反応が鈍くなることがある
 - ちょっとした音や様子に影響を受けやすい
 - 会話の途中で思いついたことを一方的に話してしまう
 - 二つのことを同時にやろうとすると混乱する
 - 要領を得ない話をだらだらとする
-
- 今何をしたらよいか分からない
 - 言われたとおりのことしか行動できない
 - 次の授業の準備を自分からすることができない
 - 計画性がなく、行き当たりばったりの行動が多い
 - 作文や感想文をどう書いたら良いのか分からない
-
- やりたいことを我慢することができない
 - 気分がハイテンションになると止まらない
 - 気持ちの切り替えができず、しつこいことがある
 - その場にふさわしくない行動をとり、止められない
 - 周りを気にせず、思ったことをそのまま言う
 - 一つのことにとこだわり、やりきらないと気が済まない
 - 無気力・無関心のように見える
 - 学校で頑張りすぎて、家庭では疲れて極端に機嫌が悪くなったり甘えたりする
 - すぐ怒ったり、キレやすい
-
- 整列ができない
 - 人とのちょうど良い物理的な距離感が分からない
 - 教室を移動するときに迷う
 - 人や物によくぶつかる
-
- 人の話を集中して聞けなくなる
 - 疲れの度合いによって学習の理解度が大きくちがう
 - ぼーっとしたり、あくびをすることが多く、怠けているように見える
 - すぐ眠くなったり、うとうとしてしまう
 - 良い姿勢を長時間保つことができない

主な症状

「記憶障害」かもしれません

新しいことを覚えることが難しくなったり、少し前のことが思い出せない、約束を忘れてしまったりする障害です。

「注意障害」かもしれません

集中力が続かなかったり、気が散りやすい、複数のことを同時にできなくなったりする障害です。

「遂行機能障害」かもしれません

物事を計画的に行うことや、段取りよく行うこと、優先順位をつけることが難しくなる障害です。

「社会的行動障害」かもしれません

自分の行動や感情をコントロールすることが難しくなる障害です。

「空間認知の障害」かもしれません

周りの人や物、場所などの位置関係が分からなくなったりする障害です。

「易疲労性の症状」かもしれません

脳に損傷を受けると、とても疲れやすくなります（神経疲労といいます。）。

* 高次脳機能障害は、症状によって各種障害者手帳（身体障害・知的障害・精神障害）の取得や福祉サービスを利用することができます。また、学校においては、特別支援教育等の教育的支援を受けることができます。